

「能」初めての方、歓迎いたします。

# 神遊 第5回公演 もっとわかる能楽講座

# 徹底解剖！ 能『羽衣』

初めて「能」をご覧になる方にも、わかりやすく楽しく能に接して頂きたいと考え、昨年大好評をいただいた、神遊ワークショップの第2弾。今回の「羽衣」は、まさに能らしさを集約したともいえる美しい曲です。若手能楽師が自ら作成したテキストをご用意いたします。当日はぜひ、手ぶらでお越しください。



一噌隆之



柿原弘和



観世喜正



観世元伯



宮増新一郎



## 第一部

### I. 「羽衣」とは

演者がストーリーをわかりやすく解説いたします。みどころをここでチェック!

### II. 「囃子の魅力」

羽衣に用いる楽曲、演奏の一部を取り上げ、お囃子の効果を演者が自ら説明いたします。

### III. 「装束を着る」

通常は楽屋で行う能装束と能面の着付を、舞台上でご覧にいたします。天人の艶やかな装束と面(おもて)について、理解を深めましょう。各解説とも約20分ずつ。当日は簡単なテキストをご用意いたします。

## 第二部

### 能『羽衣』を観る

シテ 天人	観世喜正
ワキ 漁夫白龍	村瀬 提
笛	一噌隆之
小鼓	宮増新一郎
大鼓	柿原弘和
太鼓	観世元伯
後見	奥川恒治
後見	坂真太郎
地頭	中所宣夫
地謡	遠藤和久
地謡	遠藤喜久
地謡	佐久間二郎
地謡	小島英明
地謡	長山耕三

[あらすじ]  
三保の松原の漁夫白龍(はくりょう)が、いつものように浜辺へ漁をしにやってくると、どこからともなく妙なる音楽が聞こえ、天からは花が舞い落ち、かくわしい香りがたちこめてきます。驚いて白龍があたりを見回すと、浜の松の木に美しい衣が掛かっているのを見つけます。白龍がそれを持ち帰ろうとすると、一人の女性(シテ)が現れて、その衣は天人の羽衣であり、自分のものだから返してほしいと頼みます。その女性は実は天人であり、羽衣が無くては、天に帰れないと言うのです。そこで白龍は、羽衣を返すかわりに天女に舞楽を見せてもらうことを頼みます。こうして天女は羽衣を身にまとい、舞を舞いながら天空へと帰っていくのでした。

## 平成11年5月8日(土) 於：矢来能楽堂

◆第1回目 開場13:15 / 開演14:00  
 ◆第2回目 開場16:15 / 開演17:00 (2回とも内容は同じ)  
 正面指定席 4500円 / 脇・中正面自由席 3500円  
 一般前売り発売日: 3月15日(月)  
 チケットお申込: 神遊 0422-47-3795 / チケットぴあ 03-5237-9988  
 お問い合わせ: 神遊 0422-47-3795 / 矢来能楽堂 03-3268-7311

